平成30年度に実施した主な事業

□総務費

行政システム機器運用 3,064万3千円

□民生費

障害者福祉対策 1億6,139万6千円

児童手当 4,894万3千円

□衛生費

休日等救急医療補助金 1,462万5千円

医療費自己負担分扶助等 1億773万8千円

ごみ処理事業 1億6,720万6千円

□農林水産業費

農業次世代人材投資資金事業補助 1,117万9千円

イチゴハウス施設等整備工事 3,510万円

有害鳥獣駆除補助金 1,156万円

町有林造林事業 2,374万9千円

分収造林事業 2,896万4千円

冬島地先小規模治山工事 2,527万2千円

森林管理道西冬島線開設工事 3,241万5千円

□商工費

アポイ山荘管理運営委託料 2,100万円

ジオパーク推進事業 2,883万8千円

アポイ岳保全対策 1,370万5千円

□土木費

道路維持・補修費 9,655万5千円

河川改修等 2,085万9千円

公営住宅維持管理 2,702万7千円

大通第1団地エレベーター改修工事 6,156万円

平宇団地建替工事 1億690万9千円

□消防費

日高東部消防組合負担金 1億9,488万7千円

防災費 1,593万4千円

□教育費

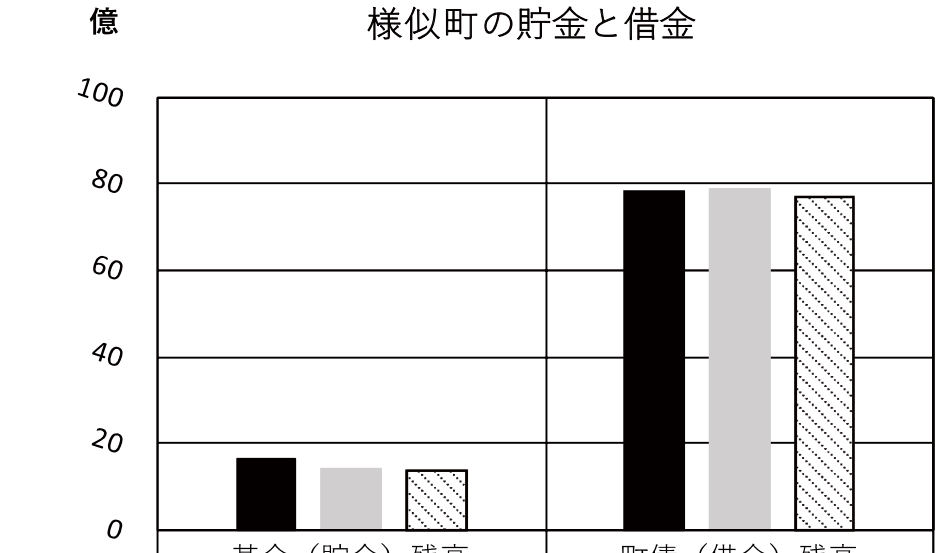
義務教育管理運営 9,837万3千円

幼児センター運営 5,793万6千円

社会教育・文化振興 2,875万7千円

生涯スポーツ推進 2,662万2千円

様似町の財政はどうなってる?



	基金（貯金）残高	町債（借金）残高
H28年度	1,662,957,000	7,837,305,000
H29年度	1,431,984,000	7,888,356,000
H30年度	1,378,849,000	7,686,023,000

平成30年度一般会計の決算は、歳入総額42億3,144万9,551円、歳出総額41億9,088万8,011円となり、基金残高は13億7,884万9,000円となっています。

今後において、町民にとって必要な事業も多数ありますが、人口減少に伴う交付税の減少等により、予算配分や経費の削減に努めていかなければなりません。

一般質問

一般質問は、議員が町の行財政全般について、執行の状況や将来の方針、現状の課題などを質問し、町長などに報告や説明を求め、適切な町政を運営しているかをただすものです。

記事は、質問をした議員本人が書いています。

【掲載のない質問について】会議録の閲覧・交付もできますので、議会事務局（36-2141）までお問い合わせください。

議員氏名	件名
根城 悌司 議員	1. 一人暮らし高齢者に対する対応について
水野 洋一 議員	1. 昆布生産の不漁に伴う施策等について 2. 水道水の濁水発生と今後の対策について 3. 町政に関し、職員が受けた各種働きかけについての取扱いについて【掲載なし】
佐々木 敏 議員	1. ブラックアウト対策について 2. 災害時における独居高齢者、障がい者等要支援者支援体制について
鈴木　隆 議員	1. JR北海道日高線の早期全面復旧について 2. 学校給食の早期実施について 3. 鵜苫地区墓地線の道路改良工事の進捗状況は。 4. 空き家対策について

質問① 一人暮らし高齢者に対する対応について



根城悌司議員

問 当町における現時点の一人暮らし高齢者世帯数、また「緊急通報システム」の設置世帯数について

答 8月末現在、当町での一人暮らし高齢者、65歳以上の単身世帯は537世帯となっている。（ソビラ荘、エンルム荘への入所者を含む）

また、うち緊急通報システムの設置世帯は39世帯となっている。

「緊急通報システム」とは？
自宅で急に体調が悪くなったり緊急の事態が発生したときに、通報装置のボタンを押すと、24時間体制で助けを求めることができるサービスです。

問 通報システムの設置要綱に記載される対象者は、比較的元気な高齢者は対象とならないとの解釈にとれるがどうか。

答 要綱においては、対象者は原則として65歳以上で健康状態や身体状況、又は日常の生活動作の状況に支障がある等、緊急時の通報手段の確保が困難な者。また、その他特に町長が認めた者と定めている。

具体的には、申請書を提出していただき、合わせて出動要請等に応じていただける協力員3名を求め、承認している。

問 こと生命に関わることでもあり、設置要綱における対象者の表現を「65歳以上の一人暮らし高齢者」という表現に改めるべきと思うが考えはどうか。

また、制度自体を理解していない世帯も多くみられるが、さらなるＰＲの方法を考えるべきではないか。

答 要綱の内容については、再度精査させていただき検討させていただく。

また、ＰＲについては、現在、介護支援専門員や保健師が高齢者世帯を訪問したとき、また担当窓口等で情報提供をしているが、指摘を踏まえ高齢者が安心して暮らせる制度としてさらなるＰＲに努めてまいります。



▶いざという時に我が身を守ってくれる通信機で、自宅の電話に接続して使用します。